

事業計画書

事業名	ふるさとの川と森を守れ！灰塚川「千年の森」づくり																											
場所	沼津市 大平地内																											
期間	平成28年 7月1日 ～ 平成29年 3月31日																											
日程	実施項目・作業項目																											
	<p>1. 灰塚川自然観察会（1回） 灰塚川の生態系に精通する専門家を講師に招き、沼津市民を主対象に、ゴムボート上からの河畔林の観察と、灰塚川の河畔を歩きながら、昆虫・野鳥・植生等を観察する。参加者募集50人を予定。講師2人、作業スタッフ2人で対応。</p> <p>2. 灰塚川河畔林再生ワンデイチャレンジ（1回） 灰塚川左岸の河畔の放置竹林の伐採・清掃活動を実施する。参加者募集30人を予定。作業スタッフ5人で対応。</p> <p>3. 植樹地造成工事 灰塚川左岸の河畔に植樹予定地（150㎡）を選定し、整地・自然堤防造成工事を実施する。作業スタッフ延べ10人で対応。</p> <p>4. 灰塚川「千年の森」づくり（1回） 灰塚川左岸に整備した植樹地において、エノキ・ムクノキ・ケヤキなどの潜在自然植生の苗木150本の植樹活動、及び植樹から数年が経過したエリアの下草刈り、除伐等の保育活動を実施する。参加者募集50人を予定。講師1人、作業スタッフ5人で対応。</p> <table border="1" data-bbox="395 1205 1369 1568"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>実施内容</th> <th>人員配置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>企画調整・募集チラシ作成</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>参加者募集・講師等打合せ</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>自然観察会</td> <td>講師2人、スタッフ2人</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>ワンデイチャレンジ</td> <td>スタッフ5人</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>植樹地造成工事</td> <td>スタッフ10人</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>植樹・保育活動</td> <td>講師1人、スタッフ5人</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>報告書作成</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>報告書提出</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	実施内容	人員配置	7月	企画調整・募集チラシ作成	3人	8月	参加者募集・講師等打合せ	2人	10月	自然観察会	講師2人、スタッフ2人	11月	ワンデイチャレンジ	スタッフ5人	12月	植樹地造成工事	スタッフ10人	1月	植樹・保育活動	講師1人、スタッフ5人	2月	報告書作成	2人	3月	報告書提出	1人
実施月	実施内容	人員配置																										
7月	企画調整・募集チラシ作成	3人																										
8月	参加者募集・講師等打合せ	2人																										
10月	自然観察会	講師2人、スタッフ2人																										
11月	ワンデイチャレンジ	スタッフ5人																										
12月	植樹地造成工事	スタッフ10人																										
1月	植樹・保育活動	講師1人、スタッフ5人																										
2月	報告書作成	2人																										
3月	報告書提出	1人																										
事業効果	<p>特に沼津市側となる左岸では、竹林化の進行および、貴重な巨木の枯死・倒木や、河川土羽の崩壊などの危険性が高まっている。当該地域において竹林伐採や植樹活動を行うことによって、潜在自然植生の多種多様な幼木が成長し、原自然の再生が期待できる。</p> <p>沼津市の子どもや大平地地区の住民、高校生・大学生などを対象として広く参加者を募集し、専門家の指導による魚類や昆虫・野鳥・植生等の自然観察会を開催する。これにより、灰塚川の生態系の貴重性・重要性、植樹活動の意義についての理解の促進と、外来生物やゴミの投棄、竹害といった諸問題への意識・関心の啓発を図ることができる。</p>																											

<p>公益性</p>	<p>当該地域は、沼津市と三島市との境界に位置しており、三島市の環境保全団体（松毛三日月会など）・地元企業・行政（静岡県東部農林事務所、沼津市、三島市）との河畔林再生を目指した新たな地域協働の体制が進んでいる。全国的にみても珍しい三日月湖周辺の自然環境の保全活動は、社会的にみても公益性が高い。</p>
<p>発展性</p>	<p>観察会の開催などにより啓蒙・教育活動が強化されることにより、地元市民等による竹林伐採・植樹活動の拡大が期待できる。今後は、浸食土羽の保護や成長した植樹後の苗木の保育といったさらなる再生活動への取り組みが求められるが、こうした生物多様性の保全体制の強化によって、文化的・歴史的なふるさと沼津の貴重な森を、再生・伝承していくなどの発展性が期待できる。</p>
<p>地域性</p>	<p>当会では、平成16年頃より、灰塚川（松毛川）の自然環境の再生と「千年の森」づくりを行ってきた。当事業の推進においては、大平地区の住民や三島市御園地区の河川愛護団体「松毛三日月会」、地元企業、沼津市、三島市、静岡県東部農林事務所等との「地域協働」による展開が望まれる。既にこれら関連団体との連携も構築されつつあり、地域環境の保全という観点からは、地域への貢献度は大きい。</p>
<p>必要性</p>	<p>当該地域に残る現自然の森には、多種多様な生物が生息しており、これらの中には静岡県レッドリスト絶滅危惧ⅠA類（県東部）のミナミメダカ等の魚類約30種、カワセミや静岡県レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類のオオタカ等の野鳥約60種が含まれる。地域の歴史・環境資源としても大切に保全すべき、沼津市の「ふるさとの宝物・ふるさとの森」といえ、その保全と維持は大平地区などの地域の課題であり責務ともいえる。</p>
<p>先導性</p>	<p>当該地域の河畔林保全活動への参加者は、これまでは主に三島市側の市民が中心であり、飛び地ともなることから、沼津市側の市民の認知度や参加意識は、三島市側に比べればやや低いといえる。当事業の推進により、より沼津市民への啓蒙・啓発が図れると考えられる。</p> <p>当会は、灰塚川でのこれまでの活動をとおして、伐採した竹のチップ化による堆肥づくりや、竹しがらによる自然堤防づくりなど、竹害に対する多面的な対策ノウハウだけでなく、地域協働による体制構築においても実践的な経験知を蓄積してきた。さらに、確実な実績も残ってきており、沼津市に対してだけでなく全国的に見てもモデル的な先進事例となることが期待できる。</p>
<p>継続性</p>	<p>灰塚川における市民・NPO・企業・行政との新たな「地域協働」の仕組みは着々と構築されつつあり、当該事業のような行政補助による事業の終了後も市民の手によって保全の継続が期待できる。将来的には、三島市の中心市街地を流下する農業用水路である源兵衛川と大溝川、灰塚川、狩野川流域を連携させた「水と緑のネットワーク・回廊」を構築して、「ふるさとの川と森」の生物多様性の保全体制の強化なども期待される。</p>